

1. 名称：確率モデルと品質マネジメント

2. 部会組織

主査： 鳥取大学 大学院工学研究科 教授 伊藤弘道
幹事： 鳥取大学 大学院工学研究科 准教授 小柳淳二
鳥取大学 大学院工学研究科 助教 南野友香
鳥取大学 名誉教授 山田茂

3. 設立趣旨

ものづくりは、1990年代にISO規格に則り、作業プロセスを予め明示しそれによって作業を実施することで高い品質を実現するプロセス重視の方向に変わった。より高い品質を実現するには、各プロセスで効果的なツールを用いることが必要である。

確率論は、現実が発生する様々な現象を説明するうえで有用である。確率モデルを品質マネジメントツールに取り入れることにより、従来よりも有効な品質管理が実現できると期待される。長い不況を越えて、日本のものづくりは国内に回帰する傾向にあり、従来からのものづくりの延長を超えた、新たな日本のものづくりを模索したい。

本研究部会では、理論研究者と実務者の双方を迎え、理論と応用の双方から情報を開示することにより、確率モデルを品質マネジメントに適用するうえでの新しい可能性を探す。

4. 対象分野

- (1) 理論分野：応用確率論、(ソフトウェア・ハードウェア)信頼性工学
- (2) 実務分野：護岸設備、道路、橋梁、航空機等

5. 研究部会開催計画

年2回以上の開催を予定している。

6. 運営方法

- ・開催の案内は、主に支部メーリングリスト等を通じて支部会員に告知する。
- ・予算に関しては、講演謝金4件(10,000円×4)を予定している。
- ・研究部会企画については、主査・幹事が主に担うが、広く支部会員からも逐次アイデアを受け、さらに充実したものとしてゆく。

以上